

更尽会 第6回総会

(2007年度)

と き 平成19年6月16日(土)

ところ 茨城大学工学部都市システム工学科

<プログラム>

- | | |
|-------------|------------|
| 12:30~ | 受付 |
| 13:00~13:55 | 第6回総会 |
| 14:00~15:45 | 懇親会(工学部生協) |
1. 開会
 2. 会長挨拶
 3. 客員会員紹介
 4. 客員代表挨拶
 5. 乾杯
— 歓談 —
 6. 中締め

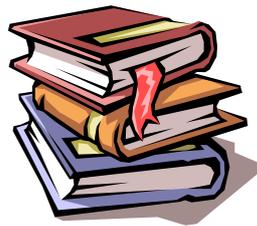
更尽会（こうじんかい）について

「更尽会」は茨城大学工学部建設工学科・都市システム工学科の卒業生および教職員を中心とする同窓会であり、平成13年5月12日に行われました学科設立20周年記念式典において発足しました。

本会の名称「更尽会」は、茨城大学元学長であり、本学科の設立にご尽力くださった黒木剛司郎先生に命名していただきました。

「更尽」とは、有名な漢詩「君に勧む 更に尽くせ 一杯の酒 西のかた 陽関を出ずれば 故人無からん」から二文字をとったもので、この漢詩は遠く辺境の地に赴任する親友を送るにあたって王維という唐の詩人が読んだものです。

黒木先生の同窓会名称の命名に関しては、「本学科で共に学んだものの友情を温め、これからも親睦を図って欲しい」との願いが込められております。



更 尽 会 第 6 回 総 会

日時 平成 19 年 6 月 16 日（土）13 時 00 分～13 時 55 分

場所 茨城大学 工学部 都市システム工学科

議 事 次 第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 議事
 - 1) 2006 年度活動報告について [第 1 号議案]
 - 2) 2006 年度決算報告について [第 2 号議案]
 - 3) 第 4 期（2007～2008 年度）新幹事について [第 3 号議案]
 - 4) 第 4 期（2007～2008 年度）会長および副会長について
 - 5) 2007 年度活動計画について [第 4 号議案]
 - 6) 2007 年度予算について [第 5 号議案]
 - 7) 2007 年度会計監査役について [第 6 号議案]
 - 8) 更尽会会則の改正について [第 7 号議案]
 - 9) その他
5. 閉会

更尽会 2006 年度活動報告

1. 第5回総会について

更尽会第5回総会を、平成18年7月1日（土）、茨城大学工学部において開催し、2005年度の活動報告および決算、2006年度の活動計画および予算、2006年度会計監査役の選出などを決議した。

また、会員相互及び在学生との交流を図るため、総会后、学科見学及び懇親会を実施し、出席者55名による懇談が行われた。



2. 幹事会について

第13回幹事会を次のとおり開催し、総会の議事内容及び本会の運営等について審議した。

- 開催日時：平成18年5月20日（土）15:00～17:00
- 開催場所：茨城大学都市システム工学科東棟3F会議室
- 議事内容：第5回総会の議事内容、2006年度年会費の納入案内、定例総会の運営、定常業務の運営方法の効率化について 他

3. ニュースレター2006の発行について

2005年度に発行したニュースレター2005の内容を踏襲して、平成18年9月にニュースレター2006を発行した。ニュースレター2006は年会費納入通知と一緒に会員に対して送付し、平成18年7月1日に茨城大学工学部において開催された第5回総会の議決事項と各種案内を掲載した。

4. 年会費の納入状況（2007年3月31日現在）について

2006年度年会費の納入案内を平成18年9月に実施した。なお、郵便振替口座・自動払込希望者に対しては平成18年4月20日に自動払込を実施した。各期の年度別会費納入状況は下表のとおり。

また、年会費未納者に対する働きかけについては、連絡先等の更新に係る課題もあり、納入率を向上させるような取り組みを実施できなかった。

更迭会年会費納入状況（平成19年3月31日現在）

学科	期	卒業年度	2001年度分			2002年度分			2003年度分		
			人数(人)	納入件数(件)	納入率(%)	人数(人)	納入件数(件)	納入率(%)	人数(人)	納入件数(件)	納入率(%)
建設工学科	1	S59	32	26	81.3	32	25	78.1	32	24	75.0
建設工学科	2	S60	29	19	65.5	29	17	58.6	29	13	44.8
建設工学科	3	S61	36	13	36.1	36	8	22.2	36	8	22.2
建設工学科	4	S62	43	21	48.8	43	24	55.8	43	21	48.8
建設工学科	5	S63	38	24	63.2	38	21	55.3	38	15	39.5
建設工学科	6	H01	41	34	82.9	41	35	85.4	41	32	78.0
建設工学科	7	H02	43	29	67.4	43	29	67.4	43	27	62.8
建設工学科	8	H03	45	20	44.4	45	21	46.7	45	20	44.4
建設工学科	9	H04	39	16	41.0	39	10	25.6	39	8	20.5
建設工学科	10	H05	42	20	47.6	42	19	45.2	42	17	40.5
都市システム工学科	1	H06	63	29	46.0	63	26	41.3	63	24	38.1
都市システム工学科	2	H07	71	17	23.9	71	14	19.7	71	12	16.9
都市システム工学科	3	H08	73	39	53.4	73	38	52.1	73	31	42.5
都市システム工学科	4	H09	71	34	47.9	71	30	42.3	71	29	40.8
都市システム工学科	5	H10	70	26	37.1	69	22	31.9	69	19	27.5
都市システム工学科	6	H11	72	17	23.6	72	15	20.8	72	12	16.7
都市システム工学科	7	H12	69	16	23.2	69	14	20.3	69	13	18.8
都市システム工学科	8	H13	—	—	—	57	14	24.6	57	10	17.5
都市システム工学科	9	H14	—	—	—	—	—	—	68	13	19.1
都市システム工学科	10	H15	—	—	—	—	—	—	—	—	—
都市システム工学科	11	H16	—	—	—	—	—	—	—	—	—
都市システム工学科	12	H17	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他(準会員)			—	0	—	—	1	—	—	0	—
合計			877	400	45.6	933	383	41.1	1,001	348	34.8

学科	期	卒業年度	2004年度分			2005年度分			2006年度分			平均納入率(%)
			人数(人)	納入件数(件)	納入率(%)	人数(人)	納入件数(件)	納入率(%)	人数(人)	納入件数(件)	納入率(%)	
建設工学科	1	S59	32	22	68.8	32	18	56.3	32	11	34.4	65.6
建設工学科	2	S60	29	9	31.0	29	7	24.1	29	7	24.1	41.4
建設工学科	3	S61	36	8	22.2	36	7	19.4	36	4	11.1	22.2
建設工学科	4	S62	43	12	27.9	43	8	18.6	43	4	9.3	34.9
建設工学科	5	S63	38	15	39.5	38	11	28.9	38	8	21.1	41.2
建設工学科	6	H01	41	26	63.4	41	20	48.8	40	13	32.5	65.3
建設工学科	7	H02	43	16	37.2	43	14	32.6	43	8	18.6	47.7
建設工学科	8	H03	45	15	33.3	45	9	20.0	45	8	17.8	34.4
建設工学科	9	H04	39	7	17.9	39	6	15.4	39	5	12.8	22.2
建設工学科	10	H05	42	15	35.7	42	8	19.0	42	4	9.5	32.9
都市システム工学科	1	H06	63	16	25.4	63	12	19.0	63	7	11.1	30.2
都市システム工学科	2	H07	71	10	14.1	71	3	4.2	71	1	1.4	13.4
都市システム工学科	3	H08	73	21	28.8	73	18	24.7	73	13	17.8	36.5
都市システム工学科	4	H09	71	17	23.9	71	7	9.9	71	6	8.5	28.9
都市システム工学科	5	H10	69	17	24.6	69	9	13.0	68	3	4.4	23.2
都市システム工学科	6	H11	72	7	9.7	72	6	8.3	72	4	5.6	14.1
都市システム工学科	7	H12	69	5	7.2	69	2	2.9	69	2	2.9	12.6
都市システム工学科	8	H13	57	5	8.8	57	2	3.5	57	1	1.8	11.2
都市システム工学科	9	H14	68	4	5.9	68	0	0.0	68	0	0.0	6.3
都市システム工学科	10	H15	66	8	12.1	66	5	7.6	66	3	4.5	8.1
都市システム工学科	11	H16	—	—	—	62	1	1.6	61	1	1.6	1.6
都市システム工学科	12	H17	—	—	—	—	—	—	73	10	13.7	13.7
その他(準会員)			—	0	—	—	0	—	—	0	—	—
合計			1,067	255	23.9	1,129	173	15.3	1,199	123	10.3	27.1

5. 学科支援活動について

(1) 特別講師の派遣について

平成16年度から実施している在学生の就職活動等を支援する取り組み（授業「都市システム工学特別講義」の「職場研究」への講師派遣）を、平成18年度も以下のとおり実施した。

なお、建設会社やコンサルタント所属の講師の派遣を望む学生の声が多数あり、多方面からの講師の派遣が今後の課題となった。

更尽会から派遣した職場研究の特別講師一覧

実施日	講師名（卒業年度）	所 属
H18/11/07	大野 真希 氏（H08年度）	国土交通省関東地方整備局
H18/11/14	曾根原宏一 氏（H16年度）	株式会社東京鐵骨橋梁
H18/12/05	根田 信義 氏（S60年度）	茨城県土木部
H18/12/12	竹内 久則 氏（H01年度）	株式会社長谷工コーポレーション
H18/12/19	浜田 知幸 氏（H12年度）	国土交通省国土技術政策総合研究所



(2) 在学生の学術活動に対する報奨制度について

卒業研究や修士研究など在学生の学術活動に対する報奨制度（仮称：更尽会賞）については、準備不足のため実施に至らなかった。

更尽会2006年度（2006.4.1～2007.3.31）決算

【収入の部】

(単位:円)

科 目	2006年度予算	2006年度決算	備 考
年会費	500,000	358,000	2,000円×179件（2006.4.1～2007.3.31）
雑収入	2,676	100	利息
前年度繰越金	847,324	847,324	
計	1,350,000	1,205,424	

【支出の部】

(単位:円)

科 目	2006年度予算	2006年度決算	備 考
通信費	250,000	107,860	総会開催通知、年会費納入通知等
備品・消耗品費	30,000	6,280	事務用品等
会議費	10,000	576	会議用お茶代
印刷費	60,000	0	
交通費	50,000	24,980	会計監査および特別講師交通費等
総会運営費	50,000	52,600	総会企画（在学生との懇談会）運営費
報奨費	50,000	0	
雑費	50,000	50,490	年会費振込手数料、発送作業アルバイト代
予備費	800,000	7,287	弔電代
次年度繰越金	0	955,351	
計	1,350,000	1,205,424	

監査の結果、上記収支決算が適正であることを証明します。

平成 年 月 日

2006年度会計監査役

印

印

更尽会第4期（2007～2008年度）幹事（案）

卒業年度	氏 名	
昭和59年度	松本智良	大谷俊夫
昭和60年度	根田信義	蛭町修身
昭和61年度	野中伸一	須原茂
昭和62年度	堀辺忍	真中剛
昭和63年度	古川英希	山田道雄
平成元年度	原田隆郎	濱崎健
平成2年度	宮本仁	平野有志
平成3年度	高橋学	人見満博
平成4年度	小林卓也	橋本則保
平成5年度	大久保啓一	松本隆弘
平成6年度	金原和彦	三瓶大介
平成7年度	岡崎伸二	庄司祐一郎
平成8年度	西坂淳	越川満
平成9年度	石川慎吾	菊池稔明
平成10年度	飯久保励	鈴木宏幸
平成11年度	岩下健太郎	小針修一
平成12年度	石内鉄平	坂本宏司
平成13年度	木梨真知子	古谷田彰
平成14年度	大信克男	鈴木久美子
平成15年度	伊藤徹	宮内大輔
平成16年度	鈴木希美	米川義幸
平成17年度	大森慎哉	小林正明
平成18年度	柴田はるか	信山和大

更尽会 2007 年度活動計画（案）

1. 第6回総会について

第6回総会を以下のとおり開催し、2006年度活動報告および決算、2007年度活動計画および予算などについて決議する。また、在学生への更尽会の周知および在学生との交流を図るため、前回（第5回）と同様に在学生との懇親会も実施する。

（1）開催日時：平成19年6月16日（土）13:00～16:00

（2）開催場所：茨城大学工学部（都市システム工学科）

（3）開催内容：

a) 総会 議事内容：①2006年度活動報告および決算について、②第4期幹事および役員について、③2007年度活動計画および予算について、④2007年度会計監査役について、⑤更尽会会則の改正について、他

b) 懇親会（会員相互および在学生との交流）

2. 幹事会について

2007年度幹事会を以下のとおり開催する。なお、必要な場合には、臨時の幹事会を開催する。

【第14回（2007年度）幹事会 <開催済み>】

開催日時：平成19年5月20日（日）14:00～16:00

議事内容：第6回総会の議事内容、2007年度年会費の納入案内等について、更尽会会則の改正について 他

3. ニュースレター2007の発行について

2007年度もニュースレター2007を平成18年8月頃を目標に発行する。ニュースレター2006の内容は、第6回総会の議決事項と各種案内とする。

4. 更尽会年会費について

2007年度の年会費の納入案内は平成19年8月頃に実施する。なお、平成19年3月31日現在における郵便振替口座・自動払込希望者に対しては、平成19年4月20日に自動払込を実施する（既に実施済み）。また、年会費の未納入者に対する対応については、幹事会においてその対応方法を検討する。

5. 学科支援活動について

2004年度から実施している在学生への就職支援活動を継続し、学科とのつながりを一層深め、在学生に対して更尽会の存在を更にアピールする。具体的には、特別講師の派遣による講義支援を継続するとともに、2006年度は準備不足で実施できなかった在学生の学術活動に対する報奨制度（仮称：更尽会賞）を実施する。

6. 会員情報の再調査について

学科30周年に向けた会員情報の充実を目的として、会員情報の再調査に関する実施方法等について検討し、3年計画で連絡先情報の完全収集を目指す。また、約400名の連絡先不明の会員がいることから、学年幹事を中心に消息の調査を行う。

更尽会2007年度（2007.4.1～2008.3.31）予算（案）

【収入の部】

(単位:円)

科 目	2006年度決算	2007年度予算	備 考
年会費納入	358,000	500,000	2007.4.1～2008.3.31の年会費納入
雑収入	100	649	利息など
前年度繰越金	847,324	955,351	
計	1,205,424	1,456,000	

【支出の部】

(単位:円)

科 目	2006年度決算	2007年度予算	備 考
通信費	107,860	250,000	総会開催通知、年会費納入通知等
備品・消耗品費	6,280	30,000	事務用品等
会議費	576	10,000	会議室使用料、会議用お茶代等
印刷費	0	100,000	封筒・ハガキ等の印刷
交通費	24,980	50,000	幹事、会計監査、特別講師交通費等
総会運営費	52,600	50,000	会場設営、総会企画（在学生との懇談会）運営等
報奨費	0	50,000	在学生学術活動の報奨
雑費	50,490	50,000	年会費振込手数料、発送作業アルバイト代
予備費	7,287	866,000	企画準備金、弔事関係経費等
次年度繰越金	955,351	0	
計	1,205,424	1,456,000	

更尽会 2007 年度 会計監査役（案）

卒業年度	氏 名
平成 8 年度	森 正 和
平成 11 年度	石 井 豪

更尽会会則の改正について

◆改正の主旨

更尽会が発足して6年が経過した。発足当初は、更尽会としての年間支出額が不安定で幅があり、かつ比較的大きなものとなっていたが、最近2年は年間30万円程度の支出である。これは、Web ページや Email などの利用によって、印刷費や通信費に係る支出が節約できていることが大きな理由である。

一方、年会費の納入率に関しては年々減少している。この原因の一つとして、「各会員が、これからも永年に渡って毎年2000円の年会費を支払わなければならない」という負担があると考えられる。

そこで、会員の会費納付に関する負担軽減のため、以下のとおり年会費の納入に関する会則の改正を提案する。

会則の改正によって、会員は入会后10年間分の会費(20,000円)を支払うことが義務づけられるが、永年に渡って年会費を払い続けなければならないという負担が無くなるとともに、年会費の納付依頼に関する事務手続きや毎年の会費納入状況の確認作業などを簡素化できるという利点もある。

更尽会会則改正対照表(案)

改 正	現 行
(目 的) 第1条 } ~ } (現行どおり) (収入源) 第9条 }	(目 的) 第1条 } ~ } (略) (収入源) 第9条 }
(会 費) 第10条 本会の正会員及び準会員は、年会費として2,000円を納付するものとする。 <u>2. 年会費の納付は入会后10年間分とし、毎年納付または一括納付のいずれかによるものとする。</u>	(会 費) 第10条 本会の正会員及び準会員は、年会費として2,000円を納付するものとする。
(会計年度) 第11条 } ~ } (現行どおり) (委 任) 第15条 }	(会計年度) 第11条 } ~ } (略) (委 任) 第15条 }
附 則 この会則は、平成13年5月12日から施行する。 <u>附 則</u> <u>この会則は、平成19年6月16日から施行する。</u>	附 則 この会則は、平成13年5月12日から施行する。

【参考】年会費納入額と年度支出額の推移

会計年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度
年会費納入額(円)	386,000	882,000	956,000	586,000	392,000	358,000
年度支出額(円)	256,694	959,483	493,410	678,881	337,541	250,073

更尽会会員構成(2007年6月30日現在)

(人)

会員種別	区分			定員	故人	現員	
客員会員	現教職員			21		21	35
	旧教職員			15	1	14	
正会員	建設工学科	1	S59年度卒	32		32	1,283
	建設工学科	2	S60年度卒	29		29	
	建設工学科	3	S61年度卒	36		36	
	建設工学科	4	S62年度卒	43		43	
	建設工学科	5	S63年度卒	38		38	
	建設工学科	6	H01年度卒	41	1	40	
	建設工学科	7	H02年度卒	43		43	
	建設工学科	8	H03年度卒	45		45	
	建設工学科	9	H04年度卒	39		39	
	建設工学科	10	H05年度卒	42		42	
	都市システム工学科	1	H06年度卒	63		63	
	都市システム工学科	2	H07年度卒	71		71	
	都市システム工学科	3	H08年度卒	73		73	
	都市システム工学科	4	H09年度卒	71		71	
	都市システム工学科	5	H10年度卒	70	2	68	
	都市システム工学科	6	H11年度卒	72		72	
	都市システム工学科	7	H12年度卒	69		69	
	都市システム工学科	8	H13年度卒	57		57	
	都市システム工学科	9	H14年度卒	68		68	
	都市システム工学科	10	H15年度卒	66		66	
	都市システム工学科	11	H16年度卒	62	1	61	
	都市システム工学科	12	H17年度卒	73		73	
	都市システム工学科	13	H18年度卒	65		65	
	大学院都市システム工学専攻修了生			19		19	
準会員	大学院博士後期課程、その他			17		17	17
合計				1,340	5	1,335	1,335

更 尽 会 会 則

平成 13 年 5 月制定

第 1 章 総 則

(目 的)

第 1 条 本会は、「更尽会」と称し、会員相互の親睦を図るとともに、会員の技術、識見、品格の向上を図ることを目的とする。

(事 業)

第 2 条 本会は、前条の目的達成のため、次の事業を行う。

- (1) 会員名簿の発行
- (2) 会報の発行
- (3) その他目的達成に必要な事業

(会 員)

第 3 条 本会の正会員は、次のとおりとする。

- (1) 茨城大学工学部建設工学科及び都市システム工学科の卒業生
 - (2) 茨城大学大学院工学研究科建設工学専攻及び都市システム工学専攻の修了生
 - (3) 茨城大学大学院理工学研究科都市システム工学専攻の修了生
2. 茨城大学大学院工学研究科及び理工学研究科博士後期課程の修了生で、主指導教官が都市システム工学科の教官であった者、及び本会の目的・事業等に賛同できる者は、本会の準会員とする。
3. 茨城大学工学部建設工学科及び都市システム工学科の教職員及びその職にあった者は、本会の客員会員とする。

第 2 章 役 員

(役 員)

第 4 条 本会の役員として、会長 1 名、副会長 2 名、幹事各学年 2 名を置く。

2. 役員の内任期は 2 年とし、再任を妨げないものとする。

(幹 事)

第 5 条 幹事は、各学年の会員より推薦し、総会において承認する。

2. 幹事は、幹事会の構成員となる。
3. 幹事は、本会の運営に必要な事務を行う。

(会長及び副会長)

第 6 条 会長及び副会長は、幹事の互選により選任する。

2. 会長は、会務を総理し、本会を代表する。

3. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けた時は、会長が予め指定する副会長がその職務を代理する。

第 3 章 会 議

(総 会)

第 7 条 会員総会は、毎年 1 回会長がこれを召集する。

2. 会長は、必要な場合には、臨時に総会を召集することができる。

(幹事会)

第 8 条 幹事会は、毎年 1 回会長がこれを召集する。

2. 会長は、必要な場合には、臨時に幹事会を召集することができる。
3. 幹事会は、次の各号に掲げる事項を審議する。
 - (1) 本会の予算及び決算
 - (2) 事業計画
 - (3) その他本会の運営に関する重要事項

第 4 章 会 計

(収入源)

第 9 条 本会は、正会員及び準会員より徴収する会費、寄付金及びその他の諸収入により運営する。

(会 費)

第 10 条 本会の正会員及び準会員は、年会費として 2,000 円を納付するものとする。

(会計年度)

第 11 条 本会の会計年度は、毎年 4 月 1 日より 3 月 31 日までとする。

(会計報告)

第 12 条 収支決算は、毎年 1 回これを各会員に報告する。

(会計監査)

第 13 条 会計監査役は、会長が会員のうちから 2 名を推薦し、総会において承認する。

2. 監査役は、本会の会計事務の監査を行うものとする。

第 5 章 雑 則

(会則の改正)

第 14 条 この会則の改正は、総会の議決による。

(委 任)

第 15 条 この会則に定めることのほか、本会の運営に関して必要な事項は、幹事会が定める。

附 則

この会則は、平成 13 年 5 月 12 日から施行する。